

令和6年度 日南市立桜ヶ丘小学校 学校運営協議会評価書

■ 本年度の重点課題 … 1 学力の向上 2 心の教育の充実 3 健康・安全の充実 4 家庭・地域との連携 5 働き方改革の推進					
評価基準		「4」 「たいへんよく取り組んでいる」(90点以上)		「3」 「よく取り組んでいる方である」(70～89点)	
		「2」 「少し改善(努力)することがある」(50点～69点)		「1」 「まだ改善(努力)をしなければならない」(50点未満)	
評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	評価(平均値)		学校関係者評価コメント
			自己評価	委員評価	
1 学力の向上	① 一人一台のタブレット端末等のICT機器を有効に活用することで、子どもたちにとって分かりやすい授業となるような工夫がなされている。	☆ 年間を通して校内研究(主題研究)においてICT機器を効果的に活用しながら“学びに向かう力”の育成に向けた授業改善を推進してきた。また、学校支援訪問での授業や相互参観授業を中心に実践・検証してきた。 ☆ AI型デジタルドリルを活用することで、教科書に応じた基礎的な学習内容を押さえたり、個のレベルに応じた課題に取り組ませたりすることができ、学力向上につながった。	職員14名 3.0	委員4名 3.3	○ タブレットの活用により、クラス全員が同時に同じ内容を見られることで、授業の進行がスムーズに行われていると思う。また、画像や動画を使うことで、子どもの脳により鮮明に記憶に残り続けると思われる。その影響もあるのか知れないが、本を読むことが少なくなっているのではないかと思う。このバランスが難しいところ。 ○ 今を生きる子どもたちにとってはタブレットを取り入れた授業をすることで、分かりやすく、一人一人がしっかりと理解できているように感じた。しかし、それが理由なのか視力の低下が気になるところ。授業中は、他者の話をよく聞き、他者の意見を取り入れ、しっかりと学ぶ姿勢が見られた。朝の読み聞かせの日程増加など、本に親しむ試みがされているように感じる。 ○ 学習のスタンダードとしてタブレット端末が定着しており、操作を含めよく活用されている。タブレット端末で十分学習は可能だが、従来からの鉛筆で書くことや紙を使うからこそ何枚完了できた、などといった達成感を味わえるため、アナログ部分もうまく活用しながら、学力向上に向けて取り組んでいただきたい。また、授業中の状況においても保護者、児童、教員とも満足度が高くなっており、少人数という利点を生かしながら、一人一人を意識した授業や積極的に発言する機会もあり、一定の評価ができるものである。一方、読書活動については、地域の方による朝の読み聞かせ等も生かしながら推進に向けて取り組んでいるが、改善の余地があるという評価が多いことから、読書のきっかけとして、ひなた電子図書館の積極利用を期待したい。 ○ 児童の評価は、たいへんよく取り組んでいる自覚があるのに、保護者、先生と評価が下がっている。保護者としては少し厳しい目で見えてしまうのかもしれないが、家庭でほめて伸ばす取組をしてみてもどうか。
	② 授業中の子どもたちの発表の仕方や話の聞き方等は的確に指導されており態度も良い。	☆ 「協働的な学び」の充実をめざし、ペアやグループ等、形態を工夫して意見交換をしたり、タブレット端末を活用して分かりやすく発表し、学級全体で考えを共有したりするなど、児童同士の学び合いを重要視しながら学習指導を行った。			
	③ 子どもたちの読書活動を推進するための手立てがなされている。	☆ 地域ボランティア、図書司書、放送委員及び図書委員の児童による読み聞かせを実施し、読書への興味・関心を高めるようにした。 ☆ 児童の評価、教職員の評価共に他の項目より低い傾向にある。今後も国語科における読書や各教科・領域での調べ学習など、図書室の効果的な利用を継続し、「読書カード」の活用を図るなど、読書の推進に努めていく。			
2 心の教育の充実	④ 子どもたちへの挨拶に関する指導は的確で、子ども達の挨拶も良い。	☆ 全校集会や朝の会、帰りの会等、機会を捉えて挨拶について指導してきた。児童に「なぜ、挨拶をするのか」を考えさせるなど、主体的な行動につながるように今後も継続して指導していく。 ☆ 教師自らが児童や保護者等に気持ちのよい挨拶を心がけた。	3.2	3.5	○ この項目については、全体的にかなりの高評価が出ているので、よく取り組まれていると思う。登下校の雰囲気も明るく微笑ましい。命を守る教育に関して児童評価で「D」があるのが気になる。大きな悩み事がなければいいが。 ○ 学校内での挨拶はとても気持ちが良い。しかし、学校外での挨拶は改善点があるようにも感じる。学級および学校全体の雰囲気が良く、皆楽しそうにしている。命を守る指導がされていると感じる。しかし、一部の児童に交通ルールをなかなか守らない子もいて、ルールを守る事が命を守ることにつながるという観点から、もう少し交通マナーについて厳しく指導してほしい。 ○ 挨拶については従来からの働きかけにより定着しているというのが保護者等の評価からも見て取れる。また、学校の雰囲気についても、特に、児童は高い評価であることから、各学年の先生方の対応は評価できるものである。道徳教育等については、家庭とも連携しながら引き続きの啓発により、人の気持ちが分かる児童になって欲しいと願う。 ○ あいさつはよくできていると思う。児童の評価もよく、学校が楽しい場所になっていて仲良く過ごしている。
	⑤ お子さんの学級の雰囲気は明るく、楽しそうに過ごしている。	☆ 月1回「心のアンケート」、学期1回教育相談を実施し、いじめの早期発見、児童の悩み等の解決に努めた。			
	⑥ 命を守るための指導(道徳教育等)が適切になされている。	☆ 特別の教科「道徳」及び「日南市レインボープラン」に従い、計画的に命の教育(性教育を含む)を実施した。 ☆ 「保護者引き渡し訓練」を含め、計画的に各種避難訓練を実施した。			
3 健康・安全の充実	⑦ 日常的な健康観察と生活指導を実施することで、基本的な生活習慣の確立がなされている。	☆ 健康や生活習慣について、全校集会や毎月の重点目標、委員会の取組等、日常から機会を捉えて指導していくことで、児童が意識を継続できるようにしてきた。	3.1	3.0	○ 「早寝・早起き・朝ご飯」「進んで運動をしている」についての児童評価が低いのが心配。食育に関しては、家庭での食事が大きなウエイトを占める。何でも調理せずに手に入る世の中だが、バランスのよい食生活を望む。 ○ ほとんどの子は、時間で行動できており、生活習慣が整っているように感じるが、ギリギリ登校で、物を食べながら登校している児童を見かける。生活リズムの改善が必要な子も多いのではないかと感じる。昼休みに体を動かす子が多いようで、遊びの中からも体作りができているのではないかと感じる。ほげんだよりや掲示板の内容が充実していてとてもよい。毎月楽しみである。 ○ 全国的に以前より体力が落ちている児童が多いという記事を見掛けるが、外遊びなど運動場で遊んでいる姿をよく見るため、外遊びの機会提供など一定の評価ができるものである。一方、生活面や食育については、学校保健委員会やお便り等で啓発もなされている。引き続き続けていただきたい。 ○ 食育に関することについては、各家庭の問題でもあるので、根気強く啓発していったほしい。
	⑧ 体力づくりにチャレンジする場や時間を設定し、日常的に体力向上に取り組む指導がなされている。	☆ 外遊びを推奨するため、学級担任や係活動、委員会活動による呼びかけを実施した。 ☆ 達成感を味わわせる学習カードの活用や「日南市わくわく運動」を準備運動に取り入れるなど、児童が体を動かすことが楽しいと思える授業を工夫した。			
	⑨ 保健や食育に関することについて、保護者への啓発がなされている。	☆ 「保健だより」「食育だより」の発行、及び学校保健委員会の実施等を通して、家庭と連携した生活指導の充実を図った。 ☆ 肥満傾向にある児童への指導及びう歯治療率向上に向けた取組を実施した。			
4 家庭・地域との連携	⑩ 家庭や地域と連携した取組を発信している。	☆ 児童の評価、教職員の評価共に高く、地域コーディネーターと連携することで、地域の方々に多くの支援をいただき、学校の教育活動を充実させることができた。 ☆ 中学校区三校合同研修会において、油津中学校区の民生委員との情報交換を実施した。	3.2	3.0	○ 児童の評価として地域の人たちと楽しく接しているというのは大いに評価できと思う。保護者の評価で「C」「D」が少々見られるのは、家庭、学校、地域の連携に対して、どう思われているのだろうか。何を望まれているのだろうか。今の時代に合った取り組み方、難しい。 ○ 地域との連携した取り組みはできているように感じる。しかし、家庭は共働きが多く学校や地域に任せきりになってる面が多く見られる。学級の情報はクラス便りで発信されているとは思う。学校の情報が月に一度の学校だよりだけとなっていて、もう少しHPへの掲載を増やしてほしい。昨年の評価が生かされている項目が多いと感じる。 ○ 学校のお便りや学校HPで活動の様子が見られるため、よく発信されていると感じる。児童数減少や地域住民の高齢化により関係性が希薄になりつつあるが、チャンスがあれば積極的に地域と交流していただき、学校が地域コミュニティの核となることを期待したい。 ○ 学校だより『桜っ子』で情報を得ている。
	⑪ 学級や学校は、必要な情報を家庭に発信している。	☆ 「学校ホームページ」の更新、「学校だより」の発行、緊急時等の「桜Eメール」による情報の発信に努めた。			
	⑫ 昨年度の学校評価を活かした学校運営がなされている。	☆ 学校運営協議会による評価等、各種評価による成果と課題を明確にして学校運営の改善に努め、重点目標の設定を行った。			
5 働き方改革の推進	⑬ 「日南市小中学校における教師の勤務時間の上限に関する方針」の徹底を図っている。	☆ 役割達成度評価における目標設定を実施し、中間ミーティング、フィードバック面談における啓発を実施した ☆ 職員間で積極的に声かけを行い、帰庁時間を意識した業務改善に努めた。	3.0	3.0	○ なかなか「4」の評価を付けるまでには至っていないということだろうか。世間では教員になりたいという若者が少ないようだ。ぜひ、魅力ある職業になることを折る。 ○ 学校で作業しない分、自宅で仕事をされているように感じる。子どもたちと向き合う時間を確保するため、昼休みも常に子どもたちとの時間を大事にされるように感じた。 ○ 一定の評価はなされているが、改善の余地があるとの結果も見受けられる。児童への細かい配慮と勤務時間の削減の両立は難しい課題ではあるが、他校の好事例等を参考しながら、引き続きの負担軽減を図っていただきたい。 ○ 児童のことを思えば、なかなか難しい問題だと思うが、少しずつ改善していったほしい。
	⑭ 業務負担の軽減を図ることで、授業改善及び児童と向き合う時間の確保に努めている。	☆ スクール・サポート・スタッフ、ICT支援員の積極活用により、業務量の削減を図り、児童と向き合う時間の確保に努めた。 ☆ ICTの活用による業務の効率化を図ることで、授業準備の時間短縮及び授業改善に努めてきた。			

校長所見	【全体所見・令和7年度の方策】 1 学力の向上 ○ 主題研究において「ひなたの学びを活かした学びに向かう力の育成」に取り組んできた。学校支援訪問時の研究授業や相互参観授業を通して「学びに向かう力を育む習熟」等について議論できたことは有意義であった。ICT活用も含め今後も手段と目的を混同することなく取り組んでいきたい。
	2 心の教育の充実 ○ 毎朝の出席状況確認を丁寧に行い、毎月の生徒指導推進会を充実させることで、問題の早期発見、迅速な対応を行うことができた。児童が、挨拶に限らず日々の学校生活全てをウェルビーイングの視点で捉えられるよう全校集会での講話「校長先生の挑戦」を実践し、少しずつ浸透してきている。 3 健康・安全の充実について ○ インフルエンザ等の感染症による影響は最小限に抑えることができたが、地震や豪雨による影響は益々大きくなってきている。その都度アップデートしてきてはいるが、緊急時の対応マニュアルや避難訓練等の安全教育については、今後も最新情報に対応した継続的なアップデートが必要である。 4 家庭・地域との連携 ○ 学校だよりやHPに加え、メディアへの積極的な働きかけ(取材依頼)や地区民児協への参加等により学校経営ビジョンの積極的な浸透を図った。 6年生の「職場訪問学習」受け入れや卒業生からの「サージ」の寄贈等、本校を見守る地域の温かな思いに応えられるよう今後とも努めていきたい。 5 働き方改革の推進 ○ 本年度より全市的に始まったフレックス制度については、早時出勤、早時退庁のパターンのみに限定することで、職員間に不公平感を生むことなく有効に運用することができた。また、問題を組織的に解決し、当事者がそれに奪われる時間やエネルギーを削減する体制を整えることで、「量」の視点だけでなく「質」の視点でも働き方改革を進めることができた。今後も、報・連・相を徹底し、その具現化に努めていきたい。

